令和８年第４回（９月）筑紫野市議会定例会
【予算審査常任委員会　委員長報告】

議案第５２号　令和８年度筑紫野市一般会計補正予算（第２号）の件について、その審査の経過と結果をご報告いたします。

本件の主な内容は、

歳出予算として、基金積立事業６億９，７６９万５千円の増額やLPガス料金高騰対策事業４，３６６万２千円の増額など、

歳入予算として、地方交付税１億５，３２６万１千円、教育費県補助金１億７，４４６万円の増額などをするものであり、歳入歳出それぞれ ８億４，５１５万５千円を増額し、歳入歳出予算の総額を４７５億４，４７８万３千円とするものです。

委員会では、「ＬＰガス料金高騰対策事業」に関して、支援額を一律２千円とした根拠は、との質疑があり、執行部からは、国が電気や都市ガスの支援を行う一方、ＬＰガスは対象外で、利用者の負担が大きいため、都市ガス支援と同等の支援効果を考慮して設定したものである、との答弁がありました。

また、一委員から、「生徒指導総合推進事業」に関して、校内サポートルーム設置等による、これまでの成果や効果について質疑があり、執行部からは、登校支援員の増員等により小学校の不登校数が減少傾向にあり、今後も早期対応による成果が期待できる、との答弁がありました。

また、一委員から、「生涯学習センター改修事業」に関して、工事期間中の利用者への配慮は、との質疑があり、執行部からは、代替室の確保や受験期等への配慮も含め、工事期間中の利用者への影響

を最小限に抑えられるよう調整していく、との答弁がありました。

　討論はなく、採決の結果、全員一致をもって、原案のとおり可決すべきものと決しました。

　以上、報告を終わります。